

中部地区会開催



平成31年2月28日、名古屋観光ホテルにおいて、JISA中部地区会(代表幹事：松田信之／(株)中電シーティーアイ取締役)が開催され、45名が参加した。

開会にあたり松田代表幹事が「11月にビジネス変革委員会と共催でアイデアソンを行い、地域のつながりが芽生えた。今後も連携の場づくりをしていきたい。」と挨拶し、続いてJISA原孝副会長が「ITのスーパーアスリートを育成して、若者が憧れる業界にしていきたい。」と挨拶した。

議事に入り、まず地区会事務局から、2019・2020年度の中部地区会が推薦する理事候補者について2名の提案があり、異議なく了承された。

次に経済産業省 中部経済産業局 次世代産業課 吉岡和彦課長から、「Society5.0～超スマート社会～につながる“Connected Industries”」と題して、政策の動向について説明があった。

最後にJISA小脇一朗副会長・専務理事から、JISA事業の重点や情報サービス業の最近の業況などの説明、生産性・収益力向上委員会がまとめた「収益改革10箇条」の紹介があった。

休憩を挟んで、鳥羽商船高等専門学校 制御情報工学科 江崎修央教授による講演「鳥羽商船高等専門学校における地域連携PBLによる課題解決の実践」が行われた。江崎教授は、獣害や高齢化が進む漁業など地域が抱える問題を、センサー、制御装置、クラウドや人工知能などのICT技術によって解決する数々の取組について具体的に紹介しながら解説した。



(赤尾)